

武里地区公民館・武里東公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

◇重点施策

- 1 近隣の自治会と連携し、防災をテーマにした各種事業を実施する。
- 2 公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
- 3 地区をあげたスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
- 4 新たに活動したい人へ情報発信を行うだけでなく、新規サークルの立ち上げを見据えた講座を開催し、地域住民の自主参加の機会を作る。

◇重点事業

- 1 武里地区公民館防災対策事業
- 2 武里市民センターまつり
- 3 武里地区体育祭
- 4 サークルスタート

武里地区公民館

所在地 〒344-0033 春日部市備後西一丁目13番2号

TEL 048-735-3004

FAX 048-737-3033

E-mail takekou@city.kasukabe.lg.jp



武里東公民館

所在地 〒344-0032 春日部市備後東七丁目38番16号

TEL 048-735-2527

FAX 048-735-2527

E-mail taketonkou@city.kasukabe.lg.jp



職員 館長(兼務) 会田和彦
主査(兼務) 小川裕司
主任(兼務) 内海美智広
主任(兼務) 金澤智子
主任(兼務) 松本直
主任(兼務) 石井春花(社会教育主事)
フルタイム(兼務) 薄田武一
フルタイム(兼務) 染谷道代

武里地区 1

事業名 テーマ	防災対策事業		対象	地域住民		定員	事業により異なる
ねらい	地域防災について、それぞれの自治会が抱える悩みや課題の解消をめざして、座学と実践を通じて、各自治会において応用できる内容で実践する。自治会と公民館の連携のみならず、自治会の横の連携も強固なものにし、情報を共有しながら、武里地区全体で継続して取り組んでいくことをめざす。						
協力機関及び団体	武里公隣防災対策連絡協議会 (備後同友自治会、備後朝日ヶ丘自治会、備後須賀第四自治会)	特色 位置づけ	地域団体との連携事業	SDGs の目 標No	4・11・ 13・17		
会場	武里地区公民館	教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施までの経過	代表者会議・企画運営委員会で事業について決定。その都度事業の詳細を協議し、決定。	PR方法	ポスター・チラシ 広報「ぼうさい」、公民館だより				
		受付方法	その都度、異なる				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月15日(土)	10:00~10:50	代表者会議・企画運営委員会合同会議	会議	10	2	12	
6月17日(土)	13:30~15:10	企画運営委員会	会議	4	2	6	
7月22日(土)	14:00~15:00	代表者会議・企画運営委員会合同会議	会議	8	2	10	
7月28日(金)	11:30~14:00	災害時カレーを食べよう	実習	3	9	12	
8月26日(土)	13:30~16:50	防災訓練	訓練	25	11	36	
9月16日(土)	14:00~16:00	企画運営委員会	会議	1	3	4	
10月28日(土)	10:00~16:00	市民センターまつり 防災展示	展示				
10月28日(土)	13:30~15:30	マイ・タイムライン作成研修	実習				
11月5日(日)	14:00~16:00	企画運営委員会	会議	5	1	6	
1月13日(土)	14:00~16:00	代表者会議・企画運営委員会合同会議	会議	5	2	7	
3月17日(日)	10:30~12:00	第11回防災をかんがえる日	講演	38	25	63	
3月23日(土)	14:00~15:30	企画運営委員会	会議	5	1	6	
毎月		広報「ぼうさい」発行					3自治会全戸配布
12回	26時間20分			104	58	162	
企画運営上の工夫	防災訓練の内容に、初めて水害に関する研修として「マイ・タイムライン作成研修」を取り入れた。						
成果参加者の声など	講演会を通して、地域の中での顔の見える関係づくりの大切さについて認識した。 マイ・タイムライン作成研修では、水害への備えの大切さを認識した。						
課題と展望	気候等の影響や住民の高齢化等により、訓練をはじめとする行事への参加者数が低調になっており、だれでも参加できるように、内容等の工夫が必要である。						

事業名 テーマ	子育てサロン		対象	0歳児～5歳児 その保護者		定員	なし	
ねらい	育児中の親子が集い、簡単な遊びを通じて参加者同士の交流を図る。 また、専門的な知識・経験を持つ主任児童委員や保育士等への相談の場を設けることで、育児における様々な不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える。							
協力機関 及び団体	春日部市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員連絡会、こども相談課、 生活支援課		特色 位置づけ	子育て支援事業		SDGs の目 標No	3	
会場	武里地区公民館 研修室1、研修室2、 教養室1、教養室2		教材 資料等					
実施ま での経 過	1月 各課に共催打診 4月1日(土) 公民館だより4月号 以降、各号にて告知		PR方法	公民館だより各号 安心安全メール				
			受付方法	当日受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回 数	総時間数			計	計	計		
4月11日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	交流 実習	9	23	32		
5月16日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		7	9	16		
6月 6日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		3	9	12		
7月 4日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		8	20	28		
8月 1日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		7	18	25		
9月 5日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		10	24	34		
10月 3日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		7	22	29		
11月 7日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		6	25	31		
12月 5日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		9	24	33		
1月16日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		12	31	43		
2月 6日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	中	止	0			
3月 5日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	10	29	39			
10回	15時間			88	234	322		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の換気やおもちゃの消毒などしながら、安心して参加できる環境づくりをする。 ・対象に乳幼児が含まれるため、授乳用の部屋を確保する。 ・気軽に参加ができるよう、申込不要とする。 ・当日の準備や運営等にも関わりながらこども相談課・生活支援課と連携を図り、子育てサロンをきっかけとした様々な事業の新しい展開を模索する。 							
成 果 参加者の 声 など	<ul style="list-style-type: none"> ・育児で不安をもっているにもかかわらず自主的に相談をすることが難しい保護者も多いが、自由あそびの時間などに助産師や主任児童委員、参加者同士で世間話をする中で自然に悩みを相談する様子がみられた。 ・保育士による手遊びに子どもたちも楽しそうに参加していた。 							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士、子ども同士の交流の場となっている。気軽に話せる雰囲気づくりを今後行うことで、保護者同士、助産師や主任児童委員と交流をより図れるようにしたい。また、育児中のパパの参加もあり、家族での参加やパパと子どものみの参加もしやすい環境や広報を行いたい。 							

武里地区 3

事業名 テーマ	ふれあい教室 キッズフェスタ		対象	小・中学生		定員	20人	
ねらい	小・中学生を対象に、普段の遊びや日常生活の延長を公民館でも体験してもらい、この世代においても満足度を高めることをねらいとし、公民館をより身近なものにする。							
協力機関 及び団体	・資生堂ジャパン株式会社 ・株式会社ブックエース TSUTAYA春日部16号線店 ・生涯学習人材情報登録者 香山 誠司		特色 位置づけ	小・中学生を対象に公民館をより身近なものとする		SDGs の目 標No	4・11	
会場	武里地区公民館		教材 資料等	講師からの提供・作成				
実施までの経過	7月1日 公民館だより7月号で告知 7月12日 管内5小学校にチラシ配布依頼 8月3日 館内飾付け 8月4日 本番		PR方法	公民館だより ポスター、チラシ 市公式SNS				
	【冬】 11月 1日 公民館だより11月号で告知 11月16日 館内5小学校にチラシ配布依頼 12月23日 館内飾付け 12月24日 本番		受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付。				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
8月17日	13:30~16:00	洗顔体験&日焼け止めのつけ方		0	14	14	資生堂ジャパン株式会社	
8月17日	13:30~16:00	ポケモンカードゲームルールティーチング		17	9	26	TSUTAYA春日部16号線店	
8月17日	13:30~16:00	ふわふわねんど		4	9	13	生涯学習人材情報登録者 香山 誠司	
2月3日	10:00~12:00	くるくるスイーツ工場		6	19	25	公民館職員	
4回	13時間30分			27	51	78		
企画運営上の工夫	・世代に合わせた新しい試みを実施し、子どもでも楽しめる公民館とする。 ・夏休みの思い出のひとつとなるよう日常で接することが多い内容とした。 ・冬はバレンタインデーに合わせチョコレートづくりを実施。また表題のくるくるにあわせ、綿菓子づくりも実施した。材料費と器具の購入のみで、職員が講師となり一緒にスイーツ作りを体験することができた。							
成果参加者の声など	参加者アンケートを実施したところ、ほとんどの子が「楽しかった」と回答があった。だが中には「チョコレート作りがむずかしかった」という参加者もいた。低学年の子には大人の手助けが必要な場面もあったが、おおむね参加者に楽しんでもらうことができた。							
課題と展望	・アンケートの「今後実施して欲しい企画」に多数の声があったため、その声を参考にしながら、企画を立てたい。							

事業名 テーマ	ふれあい教室 「植付から収穫まで いもほり！」		対象	小学生と その保護者	定員	小学生 20名	
ねらい	子どもたちに芋掘りを通して、食の大切さ、土に触れる大切さ等を学ぶ機会を作る。 食育の観点から、食物がどのように育つか、収穫だけでなく植えることから経験する。また、異学年交流や世代間交流も取り入れ、ただ参加・体験するだけでなく、仲間づくりやコミュニケーション能力の向上も合わせて図るものとする。						
協力機関 及び団体	菜園サークル「ワンダース」 春日部南中学校	特色 位置づけ	食物の生育を通じて人と自然に触れ合う事業とする		SDGs の目標No	11	
会場	武里地区公民館 武里地区内農園		教材 資料等	学習帳 サツマイモの苗			
実施までの経過	3月1日(水) 公民館だより3月号 3月11日(土) 申し込み開始 4月 日(水) 打ち合わせ	PR方法	公民館だより ポスター				
		受付方法	武里地区公民館に直接または電話で。先着順。 参加費 子ども1人 500円。 (苗代と立札代)				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月22日(土)	9:30~11:30	オリエンテーション・植付等	講義・実習	8	12	20	菜園サークル「ワンダース」
7月22日(土)	9:30~11:30	つる返し・生育観察	実習	7	7	14	
9月23日(土)	9:30~11:30	収穫	実習	6	12	18	
3回	6時間30分			21	31	52	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・作物を通じて自然への関心・興味を持てる内容とした。 ・共同作業など親子の育みや信頼を構築できる事業とした。 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫までの大変さを感じてもらえる声がある一方で自分で掘れたという達成感も得られた。 ・保護者の方からも子ども達が喜ぶ姿を見れて良かったとの声が寄せられた。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・設定したスケジュール日以外にも畑の手入れが必要なので積極的に畑へ出向いてももらえるようオリエンテーション等で周知を図れる内容を取り入れる。 ・学校行事等の事前確認を行いスケジュールの調整を早期にできるようにする。 						

武里地区 5

事業名 テーマ	目指せ！星博士	対象	中学生以下とその保護者	定員	20人		
ねらい	子どもたちを対象に、自然に触れ合う機会を増やすことで、心の成長を図る。また、参加者間での交流を図ることも目的とする。						
協力機関 及び団体	特に無し	特色 位置づけ	3回シリーズの講座とすることで、自然への理解を深める。				
会場	武里地区公民館 研修室1及び屋上	教材 資料等	講師作成資料	SDGs の目 標No	4・11		
実施までの経過	令和5年 2月8日(水) 講師打合せ 2月9日(木) 講師依頼 3月1日(水) 公民館だより3月号 3月25日(土) 申し込み開始	PR方法	公民館だより「武里」3月号 ポスター				
		受付方法	3月25日(土)8時30分から先着順に、武里地区公民館で直接または電話で受け付ける。				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月29日(土)	18:30~20:30	オリエンテーション ・春から初夏の星座と月 ・星座早見盤作り	講義 及び 観望	3	3	6	草加天文愛好会 (スペース・ワンダー) 三田 明
8月5日(土)	18:30~20:30	・夏の星座とペルセウス座流星群		7	6	13	
11月25日(土)	17:30~19:30	・秋の星座と木星、土星		8	8	16	
3回	6時間00分			18	17	35	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の公民館屋上での観望が主となるため、バリケードや照明など安全面における配慮を十分に行った。また、保護者同伴や送迎を条件とする事業とした。 ・屋内講義においても映像を用いて分かりやすい内容とした。 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ・天体観測についてさらに興味が沸く内容となったとの声が多数あった。 ・親子で自然と触れ合い、学べる機会になった。 						

課題と展望	・屋外での事業となるため、季節による寒暖や体調管理についても考慮して実施していく必要がある。安全面においても引き続き対応して安心して参加できる事業としたい。
-------	--

事業名 テーマ	武里小学校放課後子ども教室 わかたけっこひろば		対象	武里小学校児童	定員	コーナーによる	
ねらい	公民館近隣の小学校である武里小学校の児童を対象に、放課後あるいは土曜日の子どもの居場所作り、体験の場を提供するものとして市内で唯一公民館と学校が共催で事業を実施している。平日は小学校の空き教室やグラウンドを使って、土曜日は公民館にて、学校ではできないことを体験する場として、地域の方や公民館利用サークルを講師に迎え事業を実施している。						
協力機関 及び団体	共催：武里小放課後子ども教室「わかたけっこひろば」実行委員会	特色 位置づけ	公民館利用サークル、地域の方の協力を得て、公民館で事業を実施	SDGs の目 標No	11		
会場	武里地区公民館 全館		教材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	前年度の実行委員会で令和5年度の日程及び内容を協議		PR方法	チラシを武里小学校全児童に配布			
			受付方法	武里小学校で期日指定で申し込み。参加費は、各講座で異なる。			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月24日(月)	15:00~16:00	実行委員会	会議	5	8	13	室内スポーツ… スポーツ推進委員 和楽器…地域ボランティア 工作…地域ボランティア フラダンス… クラブアエケアロハ
6月10日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	22	33	55	
7月8日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	18	27	45	
9月9日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	25	29	54	
10月14日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	25	25	50	
11月25日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	24	23	47	
12月9日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	27	30	57	
1月13日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	25	30	55	
2月10日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	20	47	67	
3月9日(土)	9:30~11:30	どようひろば	実習	20	35	55	
3月9日(土)	11:30~12:30	実行委員会次年度打ち合わせ ※令和6年4月 実行委員会 会場 武里小	会議	7	8	15	
11回	20時間00分			218	295	513	
企画運営上の工夫	活気ある場になるよう参加者間でのコミュニケーションを多く持てるよう声掛けを心掛けた。						
成果参加者の声など	コロナ禍前のようなふれあいが子どもたちの笑顔となり学校生活の延長線上にある体験等を通して学べる事業となった。						
課題と展望	参加者が少なくなり、実施から外れたプログラムもあったので子どもたちのニーズにあった取組も必要である。また、この事業を通じて地域と子どもたちとの繋がりがさらに深められる場となるよう検討していく。						

武里地区 7

事業名 テーマ	たけさとカフェ	対象	一般	定員	20～70名		
ねらい	毎月1回、気軽な雰囲気の中で1つのテーマについて学ぶ場を作る。また、市民主体の取り組みにするため、公募による企画運営委員に、事業内容の企画及び当日の運営への協力を依頼し実施する。						
協力機関 及び団体	各講師の所属する機関・団体	特色 位置づけ	企画運営委員の 協力による市民 主体の事業	SDGs の目 標No	4・11・17		
会場	武里地区公民館 研修室1又は講堂	教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施ま での経 過	前年度の企画運営委員会において、プログラム内容を検討した。 実施前月発行の公民館だよりで広報	PR方法	公民館だより ポスター・チラシ				
		受付方法	武里地区公民館で直接または電話 により先着順に受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
4月21日(金)	14:00～16:00	楽しくフレイル予防に取り組もう	講義	6	27	33	全国老人クラブ連合会認定健康 づくり推進員 田中 道子
5月19日(金)	14:00～16:00	食情報から健康について考えよう	講義	4	24	28	埼玉県立大学健康開発学科 准教授 内山 真理
6月16日(金)	14:00～16:00	みんなで踊ろう！ ～春日部音頭・武里音頭～	講義	0	32	32	武里民謡会 荒木 光草子
7月21日(金)	14:00～16:00	おなか元気教室 「早ね、早おき、朝ごはん、朝ウンチ」	講義	2	7	9	埼玉東部ヤクルト販売株式会社 直販営業部 給食開発担当 村上 直子
8月18日(金)	14:00～16:00	たけさと落語会	講義	21	46	67	越谷サンシティ落語研究会
9月15日(金)	14:00～16:00	楽しく、正しくスマホを学ぼう！	講義	9	13	22	埼玉県立大学健康開発学科 准教授 小川 孔美 学生ボランティア
10月20日(金)	14:00～16:00	健康アップ ～いきいきフレイル予防運動～	講義	2	25	27	全国老人クラブ連合会認定健康 づくり推進員 田中 道子
11月17日(金)	14:00～16:00	楽しく学ぶ！認知症予防講座 ～認知症の理解～	講義	1	9	10	明治安田生命保険相互会社 My定期講座
12月15日(金)	14:00～16:00	いきいき美容教室	講義	0	15	15	資生堂ジャパン株式会社
1月19日(金)	14:00～16:00	「健康づくり応援」講座 ～ずっと元気に過ごしたい～	講義	2	20	22	明治安田生命保険相互会社 My定期講座
1月19日(金)	16:15～17:15	次年度打合せ	会議	5	3	8	
2月16日(金)	14:00～16:00	「健康づくり応援」講座 「がん」からわたしの未来を守る	講義	0	21	21	明治安田生命保険相互会社 My定期講座
3月15日(金)	14:00～16:00	「健康づくり応援」講座 必要な栄養素は取れていますか？	講義	2	21	23	明治安田生命保険相互会社 My定期講座
13回	25時間			54	263	317	
企画運営上の工夫	・小学校の夏休み期間を利用し対象者を児童とした内容を盛り込んだ。 ・参加者のアンケート結果を反映させ、ニーズに近い内容とした。						
成果参加者の声など	・講義的な内容でなくて、体を動かさず講座も楽しく参加でき、また実施してほしい。 ・難しい内容の講座もあったが、勉強になりました。						
課題と展望	高齢者向けの事業となっているが、今年度は子ども向けの事業も取り入れて実施した。 固定の参加者だけでなく新しい世代等の新規参加者層の獲得方法を今後検討した						

事業名 テーマ	オレンジカフェ「アサンテたけさと」		対象	認知症の方、その家族の方、また認知症に関心がある方		定員	20人	
ねらい	地域にお住まいの認知症の方やその家族の方、また認知症に関心がある方など、どなたでも気軽に参加できる”つどいの場”として開設する。当日の運営主体となる春日部市第4地域包括支援センターの特徴を發揮できるように支援し、また、ボランティアスタッフの協力も得ながら開催する。							
協力機関及び団体	共催：春日部市第4地域包括支援センター		特色 位置づけ	ボランティアスタッフの協力で運営		SDGsの目標No	4・11	
会場	武里地区公民館 3階研修室1		教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりで募集		PR方法	広報かすかべ公民館だより				
			受付方法	実施月の1日から第4地域包括支援センターに直接または電話で				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
				計	計	計		
4月15日(土)	10:00～11:30	脳トレパズル、 作品作り、簡単な体操 など	実習	1	14	15	春日部市第4地域 包括支援センター	
5月20日(土)	10:00～11:30		実習	4	24	28		
6月17日(土)	10:00～11:30		実習	0	19	19		
7月15日(土)	10:00～11:30		実習	0	17	17		
8月19日(土)	10:00～11:30		実習	0	12	12		
9月16日(土)	10:00～11:30		実習	0	12	12		
10月21日(土)	10:00～11:30		実習	0	18	18		
11月18日(土)	10:00～11:30		実習	0	15	15		
12月16日(土)	10:00～11:30		実習	0	21	21		
1月20日(土)	10:00～11:30		実習	0	13	13		
2月17日(土)	10:00～11:30		実習	0	20	20		
3月16日(土)	10:00～11:30		実習	0	20	20		
12回	18時間00分			5	205	210		
企画運営上の工夫	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、事前申込制及び定員20人の条件を継続した。毎回参加の方も多数いらっしゃるため、製作するものを毎回変えたり、新しいプログラムを取り入れたりする等の工夫をした。							
成果参加者の声など	「今日は何の日？」や「懐かしい歌を歌う」での参加者の懐かしそうな顔をはじめ、楽しそうに過ごしている様子が印象的だった。また、認知症のご家族と一緒に参加された方もいらっしゃり、地域の見守りにもつながっていた。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止対策は緩和傾向となっているが、当事業は高齢者が主な参加者であるため、共催となる第4地域包括支援センターとこまめに打合せをしながら、対策をとる範囲を決めていきたい。また、事業の運営に関わってくださっているボランティア「ニコニコ会」の皆さんにも引き続きご協力いただき、「こんにちは！」「おひさしぶり！」「元気？」のやり取りができるよう公民館もアイデアを出していきたい。							

武里地区 9

事業名 テーマ	オレンジカフェ		対象	認知症の方やご 家族の方	定員	30人	
ねらい	地域にお住いの認知症の方やそのご家族、認知予防に関心のある方などが、気軽に活動できる集い・交流の場をつくり、認知症についての情報交換・学習・研修などを実施し、地域における認知症への理解を深める。また、地域住民ボランティアの運営スタッフによる、地域に根付いた見守り活動につなげていく。						
協力機関 及び団体	共催：春日部市第5地域包括支援センター	特色 位置づけ	ボランティアスタッフの協力で運営	SDGs の目 標No	4・11		
会場	武里東公民館 大会議室		教材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりで募集		PR方法	公民館だより ポスター・チラシ			
			受付方法	電話で先着順に、第5地域包括支援センターで受け付け			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月8日(土)		選挙準備のため中止	実習			0	春日部市第5地域 包括支援センター 
5月13日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	4	26	30	
6月10日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	4	26	30	
7月8日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	5	25	30	
8月19日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	6	24	30	
9月9日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	27	30	
10月14日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	24	27	
11月11日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	27	30	
12月9日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	5	24	29	
1月13日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	4	25	29	
2月10日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	5	25	30	
3月9日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	6	24	30	
12回	16時間30分			48	277	325	
企画運営上の工夫	工作や体操を取り入れ参加しやすい雰囲気づくりに努めた。また、孤立してしまう方がでないよう、スタッフで目を配り声掛けをした。						
参加者の声など	参加者同士も顔見知りになり、打ち解けていた。工作の時など、助け合いながら、制作している姿も見受けられた。毎回のオレンジカフェを、とても楽しみにしているとの声もありました。						
課題と展望	音楽鑑賞も積極的に取り入れたら、参加者も歌えるようにするともっと楽しみも広がる。						

事業名 テーマ	えんJOYトレーニング		対象	一般		定員	20名	
ねらい	「いつまでも元気」を目指して地域の中で行う介護予防体操のえんJOYトレーニングを、市民の自主的なトレーニング活動として運営協力者であるサポーターの育成を含めて行い、地域住民の健康増進を図る。							
協力機関 及び団体	共催：第4地域包括支援センター 協力：介護保険課		特色 位置づけ	年間を通した事業 様々な団体との連 携	SDGs の目 標No	3・4・11		
会場	武里地区公民館 講堂		教材 資料等	えんJOYトレーニングハンドブック				
実施ま での経 過	前年度より継続 サポーター養成講座		PR方法					
			受付方法	欠員時に申込を受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月4・11・18・25日	10:00～11:30	えんJOYトレーニング 毎週火曜日実施 ※10月3日 体力測定実施 ※9月29日 10月6・13・20日 (すべて金曜日) サポーター養成講座実施 合計参加人数 72名	実習	4	111	115		
5月16・23・30日	10:00～11:30			1	67	68		
6月6・13・20・27日	10:00～11:30			2	95	97		
7月4・11・25日	10:00～11:30			1	84	85		
8月1・8・22・29日	10:00～11:30			2	99	101		
9月5・12日	10:00～11:30			1	50	51		
10月3・17・24・31日	10:00～11:30			4	99	103		
11月7・14・21・28日	10:00～11:30			3	106	109		
12月5・12・19・26日	10:00～11:30			3	95	98		
1月16・23・30日	10:00～11:30			3	79	82		
2月6・20・27日	10:00～11:30			1	72	73		
3月5・12・19・26日	10:00～11:30			2	100	102		
42回	63時間00分					27		1057
企画運営上 の工夫	・コロナ禍では控えていた声を出してのカウントをとってのトレーニングも徐々にスタートさせた。 ・ダンス曲を取り入れたトレーニングも実施した。							
成 果 参加者の 声 など	カスタネットを使ってのカウントとりや脳トレにもなるような内容があつて楽しめた。							
課題と展望	例年の課題ではあるが、サポーターの数を増やすことに苦慮しているのでさらなる工夫が必要と感じられる。							

武里地区 11

事業名 テーマ	パソコンの操作を学ぼう！		対象	一般		定員	各回 10名
ねらい	パソコン初心者を対象に、日常生活に役立つ「ワード」や「エクセル」の基礎的な知識や技術を学ぶ機会として実施する。また、地域の方々が、教え合い、学び合う学習活動を通じて、交流を図る機会とする。						
協力機関 及び団体	市民ボランティア		特色 位置づけ	市民ボランティアの協力により 運営		SDGs の目 標No	4・11・ 17
会場	武里地区公民館 会議室1・2		教材 資料等				
実施ま での経 過	2月25日(土) ボランティアスタッフ打 合せ 4月号公民館だよりで広報		PR方法	公民館だより			
			受付方法	武里地区公民館で直接または電 話により先着順に受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
4月22日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決	実習	1	0	1	各回ともに市民ボランティア
5月13日(土)	14:00～16:00			4	1	5	
5月27日(土)	14:00～16:00			2	0	2	
6月10日(土)	14:00～16:00			1	1	2	
6月24日(土)	14:00～16:00			0	1	1	
7月8日(土)	14:00～16:00			2	0	2	
8月19日(土)	14:00～16:00			1	0	1	
9月23日(土)	14:00～16:00			2	3	5	
10月21日(土)	14:00～16:00			1	0	1	
11月25日(土)	14:00～16:00			2	1	3	
12月23日(土)	14:00～16:00			3	2	5	
1月27日(土)	14:00～16:00	1	0	1			
11回	22時間			20	9	29	
企画運営上 の工夫	・参加者とボランティアスタッフとの講座内容を通じて交流や学びが多くある事業とした。						
成 果 参加者の 声 など	・不明な点をわかりやすく説明していただき助かりました。 ・楽しく教えていただき、ありがたい教室でした。						
課題と展望	スマートフォンの普及によりパソコン離れが進んで参加者が減ってきており、また、ボランティアの確保も課題となっている中で、講座内容の幅を広げて対応できるかを検討していきたい。						

事業名 テーマ	教養講座 ①春の散策～風薫る新緑ウォーク～ ②秋の散策～郷土を知る旅～		対象	成人一般		定員	①20人 ②20人	
ねらい	地域住民に春日部市内及び近隣の風土・歴史を紹介し、郷土に対する知識や関心を深めてもらうとともに、郷土愛も深めてもらう。また、生涯学習を推進する機会とする。							
協力機関及び団体	・武里大枝公民館 ・生涯学習市民推進員 (武里地区・武里南地区)		特色 位置づけ	生涯学習市民推進員との共同計画及び武里大枝公民館との共催		SDGsの目標No	4・11	
会場	①内牧地内 ②市内、さいたま市		教材 資料等	散策のしおり				
実施までの経過	① 2月 9日 (木) 武里地区打合せ 2月22日 (水) 合同打ち合わせ 4月 6日 (水) コース下見 5月 1日 (土) 公民館だより5月号 5月11日 (木) 申込受付開始 ② 8月 3日 (木) 打合せ 11月 1日 (水) 公民館だより11月号 11月 7日 (火) 募集開始		PR方法	①公民館だより5月号 ②公民館だより11月号				
			受付方法	①5月11日 (木) ②11月7日 (火) 午前8時30分から、先着順に武里地区公民館と武里大枝公民館で直接または電話により先着順に受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
①5月24日(水)	9:00～12:30	北春日部駅西口(出発) →鶯香取神社→内牧公園 →内牧塚内古墳群→古隅 田川緑道→中央公民館 各公民館(出発)→消防 本部→春日部夢の森公園 →造幣さいたま博物館→ 各公民館着	見学	4	8	12	生涯学習市民推進員	
②11月21日(火)	9:30～15:30		見学	11	15	26	生涯学習市民推進員	
2回	9時間30分			15	23	38		
企画運営上の工夫	生涯学習市民推進員との共同企画、及び武里大枝公民館との共催とし、生涯学習市民推進員が解説を行い、地域の学習ができるようにした。11月のバス旅は新紙幣の発行にちなんでさいたま市の造幣博物館見学を取り入れた							
成果参加者の声など	①天候に恵まれ、内牧地区の歴史を深く知る散策となり、参加者からは、新たな発見があったなどの声もあった。 ②バス移動が楽でよかった。市内の消防本部見学では間近に見るクレーン車に感動した。							
課題と展望	事業開始以来市内の数多くの史跡や名所を散策しており、散策コースの選定であらたな散策地を定めることが課題となりつつある。今後は、過去の散策場所でも楽しく魅力ある企画を付加するなど、内容を充実させて実施できるよう、生涯学習市民推進員と連携を図ることが求められる。							

武里地区 13

事業名 テーマ	教養講座 学生支援事業 ～自分でできた！を応援～ 夏の短期集中自習室		対象	小・中学生		定員	各回30人	
ねらい	クールオアシスである公民館の部屋を環境を整えた上で開放することで、小・中学生に夏休みの宿題等の自主学習に取り組む場を提供する。また、学生ボランティア等に質問対応を実施してもらうことで、異年代とのコミュニケーションの場とする。							
協力機関 及び団体	・埼玉県立大学(学生ボランティア) ・春日部女子高等学校(講師)		特色 位置づけ	夏休みの自主学習を支援する事業		SDGs の目標No	4・17	
会場	武里東公民館 研修室及び講習室		教材 資料等	各自持参				
実施までの経過	7月1日 公民館だより7月号 7月 近隣4小・中学校に チラシ配布 8月 市公式SNS安心・安全メール 配信		PR方法	公民館だより7月号				
			受付方法	当日、先着順で受付。				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
8月23日(水)	9:00～18:00	自主学習	学習	1	7	8	質問対応スタッフ のべ12人 	
8月24日(木)	9:00～18:00	自主学習 ※小学生は17:00まで。 ※12:00～13:00は、 昼休憩	学習	0	6	6		
2回	16時間			1	13	14		
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・8月23日(水)午前中のみ春日部女子高等学校教諭による学習アドバイスの時間を設けた。 ・昼休憩の時間においても参加者やスタッフが交流を深められるよう同部屋で休憩できるようにした。 							
成果参加者の声など	夏休みの宿題を進めることや学校で学んできたことの振り返りができて有意義な時間となった。							
課題と展望	出来るだけの募集案内についての周知を行ったが、参加者の増加に繋がらなかった。小中学生やその保護者のニーズに応えられる内容を改めて研究・調査する必要がある。							

事業名 テーマ	武里市民センターまつり		対象	一般	定員	各部屋ごとに設定	
ねらい	公民館利用者の学習成果の発表及び公民館自主企画等の実施を通じて、利用者相互の交流と地域住民の公民館活動への理解を深めると共に利用者の拡大を図る機会とする。						
協力機関及び団体	・武里市民センターまつり実行委員会 ・運営協力員 ・武里公隣防災対策連絡協議会 ・NPO法人 かすかべ子ども食堂 ひなた	特色 位置づけ	・実行委員会形式 ・公民館企画の実施	SDGsの目標No	11		
会場	武里地区公民館(全館)・寿楽荘		教材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	6月13日～7月4日 参加申込受付 7月15日 第1回実行委員会 9月30日 第2回実行委員会 10月26～27日 事前会場準備 10月27日 展示作品 搬入日 10月28～29日 開催日		PR方法	公民館だより6月～10月号(周知・参加募集) 市公式SNSにて周知 ポスター掲示			
			受付方法	(展示・ステージ・体験・公民館企画) 公民館窓口にて参加申込書を配布 (スポーツ) グラウンドゴルフ利用団体内での受付 (見学) 自由			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10/28(土) 10/29(日)	9:00～16:00 9:00～15:00	展示・ステージ・体験・公民館企画 展示・ステージ・公民館企画 (展示・ステージ・体験・公民館企画内訳) (展示の部) ・公民館利用団体 (デモンストレーション含む) ・個人作品 (ステージの部) ・ステージ発表 (体験の部) ・そば打ち ・茶道 (公民館企画) 28日 ・名刺を作ろう! ・防災展示 ・マイ・タイムライン作成研修会 29日 ・レクリエーション(各種ゲーム) ・食料無料配布会 ・たけさと 歌自慢!! ※スポーツの部については雨天のため中止となった	鑑賞・体験・販売 鑑賞・参加	 			
2回	15時間		延べ	305	463	768	
企画運営上の工夫	・公民館企画において新たな取り組みとしてキッズ向け企画を実施した。 ・館内装飾については、必要以上に華美にせず本来の公民館の姿を見せる形とした。 ・簡素化したものになるが、開会式及び閉会式を実施した。						
成果参加者の声など	・新たな出会いがあり交流の幅が広がった。 ・参加団体が少なくなって、寂しく感じた。(過渡期なのかな) ・公民館企画についてもあらゆる世代に好評を得た。						
課題と展望	・最終日の展示・ステージ等の終了時間が違うためそのまま帰ってしまう運営協力員が出てきてしまったので、片付けや閉会式に参加する人が少ない状態となったため、時間調整など新たな方法を検討していく。						

武里地区 15

事業名 テーマ	令和5年度春日部市民体育祭 第63回武里地区体育祭		対象	一般	定員	種目ごと	
ねらい	地区住民を対象として主体的に開催し、だれでも気軽に参加でき、地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深めて、健全な地域の発展を図る。						
協力機関 及び団体	主催:春日部市 武里地区自治会連合会 武里地区公民館 武里東公民館 主管:武里地区体育祭実行委員会 協力:第4地域包括支援センター 大沼中学校・武里中学校	特色 位置づけ	武里地区内の自治会のコミュニティの場として。及び体育の振興の場として。		SDGs の目標No	3・11	
会場	武里小学校校庭		教材 資料等	プログラム(地区内全戸配布) 各競技参加者に賞品			
実施までの経過	5月21日 市実行委員会 6月18日 企画運営会議 7月22日 代表者会議 9月10日 実行委員会 10月7日 前日準備 10月8日 地区体育祭		PR方法	公民館だより7・8・9・10月号 各自治会及び管内学校、一ノ割 駅、武里駅へポスター配布依頼(9月) プログラム全戸配布(10月)			
			受付方法	地区対抗、事前・当日受付種目を除き地区住民が自由に参加する。			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月8日(日)	8:40~15:10	9チーム対抗 地区対抗種目 5種目 自由参加種目 8種目 事前・当日受付種目 2種目	競技	1300	1000	2300	
1回	6時間30分			1300	1000	2300	
企画運営上の工夫	5年ぶりの体育祭となったので、競技や運営方法の大きな変更は行わず各地区役員や選手に混乱が生じないように開催した。選出できる競技役員の人数が少なくなったため、地区内中学校に協力をお願いした。						
成果参加者の声など	大きなけが等なく、体育祭を終えることができた。また、概ねタイムスケジュールとおりの開催ができ、スムーズな運営となった。						
課題と展望	今年度は不参加チームが3チームあった。どのチームも参加しやすい運営や競技内容に見直していく必要がある。今後の会議で検討していきたい。また、中止の年が続いたことや競技役員の変更、欠席などから、競技役員の業務にトラブルが生じたので、業務内容確認を徹底するための工夫が必要となる。						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東150名	
ねらい	人権についての学習機会をつくり、人権意識の高揚を図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	公民館利用者会 議とあわせて実施	SDGs の目 標No	4・10・11		
会場	①武里地区公民館講堂 ②武里東公民館研修室		教材 資料等	DVD映画 「今ここにいる人と、しっかり出会う- 同和問題-」			
実施ま での経 過	12月12日(火) 開催通知配布 1月1日(月) 公民館だより1月号 1月23日(火) 申し込み締め切り		PR方法	開催通知(窓口配布) 公民館だより1月号			
			受付方法	1月23日(火)までに参加希望会場 に直接または電話で。			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
1月27日(土)	11:00~11:30	DVD上映 武里地区公民館	鑑賞	7	22	29	
1月27日(土)	14:45~15:30	武里東公民館	鑑賞	1	9	10	
2回	1時間15分			8	31	39	
企画運営上 の工夫	身近に起きている人権の問題をDVD上映を通じて、啓発の機会となるようにした。 ストーリーのある内容で、現代の同和問題についてわかりやすいDVDを選定した。						
成 果 参加者 の声 等	参加者からは「偏見を持ったり、差別をしないようにしたい。」との意見があり、改めて人 権問題について理解を深める機会となった。						
課題と展望	人権についての意識や知識を深める場となるよう引き続き啓発に努めていく。						

武里地区 17

事業名 テーマ	サークルスタート		対象	一般		定員	特定せず	
ねらい	サークルを新たに立ち上げることまで見据えた講座を開くことにより、地域住民のサークル活動への自主参加の機会を作る。サークル活動開始後も、サークルが継続して活動できるよう支援する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGs の目 標No	11	
会場			教材 資料等					
実施ま での経 過			PR方法	公民館だより				
			受付方法	随時受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月1日(土)～ 3月31日(日)		公民館だよりに随時掲載						
企画運営上 の工夫	特定の期間での実施ではなく、随時対応とし、主に既存サークルの会員募集を行った。							
成 果 参 加 者 の 声 など	4団体から会員募集の申し込みがあった。							
課題と展望	会員の減少や高齢化による課題を抱えているところが多い。今後は、公民館活動への参加のきっかけとなる機会や情報を提供し、支援していく必要がある。							

事業名 テーマ	①令和5年度武里地区公民館利用者会議 ②令和5年度武里東公民館利用者会議		対象	公民館利用者 及び利用予定者		定員	武里200名 武里東150名	
ねらい	公民館の利用方法及び、利用者と公民館との連絡調整を行い、公民館の円滑な利用を図る。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	人権教育研修会 とあわせて実施		SDGs の目 標No	4・11	
会場	①武里地区公民館 講堂 ②武里東公民館 研修室		教材 資料等	会議資料 公民館へのご意見・ご要望				
実施ま での経 過	12月12日(火) 開催通知配布 1月1日(月) 公民館だより1月号 1月23日(火) 申し込み締め切り		PR方法	開催通知(窓口配布) ポスター 公民館だより1月号				
			受付方法	1月23日(火)までに参加希望会場 に直接または電話で。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回 数	総時間数							
1月27日(土)	10:00~11:00	武里地区公民館	講義	7	22	32		
1月27日(土)	14:00~14:45	武里東公民館	講義	1	9	7		
2回	1時間45分			8	31	39		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・開催案内について公民館利用者(団体)に幅広く行き渡るよう掲示や窓口での周知を実施した。 ・同時に人権教育研修会を開催し啓発に努めた。 ・当日参加できなかったサークルには会議資料を後日配布した。 							
成 果 参加者 の声 等	コロナウイルス感染対策を行う前の利用方法に戻って最初の会議であったため、改めて公民館の使い方について確認を行った。							
課題と展望	公民館利用者(団体)に利用規則や利用方法を幅広く理解してもらえる機会となるので、多くの方が参加できるよう工夫していく。							